

おぢや

市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 72

26.4.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



小千谷市立総合支援学校 開校

今年4月に新しく旧塩殿小学校校舎を利用した小千谷市立総合支援学校が開校し、小学部、中学部、高等部の児童生徒29人が学んでいます。

小千谷市民の願いであった総合支援学校の歴史が新たに始まるわけですが、暖かい目で見守っていききたいものです。

所在地：小千谷市大字塩殿甲2144番地

電話 82-1878 FAX 82-1889

- 第1回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P3~4
- 一般質問 …… P5~7
- 議日日誌 …… P8
- 雪あかり、編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

この市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成26年小千谷市議会
第1回定例会
議決結果

2月26日から3月18日まで開催し、次のとおり議決いたしました。

条例の制定・改正

- 小千谷市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市行政財産の目的外使用条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市手数料条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市立学校使用条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市社会教育委員設置条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市立図書館条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市青少年問題協議会設置条例の一部改正(全会一致)
- 小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部改正(全会一致)
- 小千谷市民会館条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市民学習センター条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市民の家条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市片貝総合センター条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市スポーツ広場条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市体育館条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市総合福祉センター条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市老人憩の家条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市健康センター条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市斎場条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市農業管理センター条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市錦鯉の里条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市準用河川管理条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市法定外公共物管理条例の一部改正 (起立多数)

新年度予算

- 小千谷市克雪管理センター条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市都市公園条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷駅前広場条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市一般会計予算 (起立多数)
- 小千谷市国民健康保険特別会計予算 (起立多数)
- 小千谷市介護保険特別会計予算 (起立多数)
- 小千谷市後期高齢者医療特別会計予算 (起立多数)
- 小千谷市工業団地事業特別会計予算 (全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計予算 (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計予算 (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計予算 (全会一致)
- 小千谷市下水道事業会計予算 (全会一致)

平成25年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第6号) (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号) (全会一致)
- 小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市下水道事業会計補正予算(第3号) (全会一致)

その他

- 専決処分(新潟県市町村総合事務組合規約の変更) (全会一致)
- 財産の処分(土地) (全会一致)
- 小千谷市財政調整積立金の処分 (全会一致)
- 公共施設の相互利用に関する協定の変更 (全会一致)



請願

- 小千谷市営土地改良事業(災害復旧)の施行 (全会一致)
- 小千谷市固定資産評価審査委員会委員(本田毅氏)の選任 (起立全員同意)
- 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書提出に関する請願 (不採択)
- 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願 (採択)

発議

- 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める意見書 (全会一致)

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。
(平成26年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案24件の内、22件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願1件については不採択となりました。

○議案第11号 小千谷市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について

本案は、消防組織法の一部改正により、これまで政令で規定していた消防長及び消防署長の資格の基準等について条例で定めることとされたことに伴い、条例を制定するものです。

○議案第12号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、大規模災害からの復興に関する法律の施行に伴い、災害派遣手当の支給対象職員の追加等を改正するものです。

○議案第13号 小千谷市行政財産の目的外使用条例の一部を改

正する条例の制定について

本案は、消費税の税率改正に伴い、行政財産の目的外使用料の消費税率に相当する率等を改定するものです。

○議案第14号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、消防本部関係の手数を改定するものです。

○議案第15号 小千谷市立学校使用条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、学校施設開放の運動場使用料を改定するとともに、総合支援学校の運動場を使用できる施設として新たに加えるものです。

○議案第16号 小千谷市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、社会教育法の一部改正により、これまで法律で定められていた社会教育委員の委嘱基準を条例で定めることとされたことに伴い、条例を改正するものです。

○議案第17号 小千谷市図書館条例の一部を改正する条例の制

定について

本案は、図書館の使用料を改定するものです。

○議案第18号 小千谷市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方青少年問題協議会法の一部改正により、委員の任命基準等を定めるものです。

○議案第19号 小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、勤労青少年ホームの使用料を改定するものです。

○議案第20号 小千谷市民会館条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第21号 小千谷市民学習センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第22号 小千谷市民の家条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第23号 小千谷市片貝総合センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第24号 小千谷市スポーツ広場条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第25号 小千谷市体育館条例の一部を改正する条例の制

定について

○議案第29号 小千谷市斎場条例の一部を改正する条例の制定について

以上の議案7件は、いずれも消費税の税率改正に伴い、それぞれ使用料及び利用料等を改定するものです。

○議案第39号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、平成25年第4回定例会で議決した「小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例」の附則の経過措置に1項を追加する改正をするものです。

○議案第40号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第6号)について

今回の補正は、歳入歳出それぞれ9461万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ188億6005万円とするものです。

○議案第44号 小千谷市下水道事業会計補正予算(第3号)について

本案は、他工事に伴う管渠等修繕工事等の増に伴う増額補正をするものです。

○議案第1号 平成26年度小千谷市一般会計予算について

平成26年度小千谷市一般会計予算は歳入歳出それぞれ178億9千万円とするものです。

○議案第6号 平成26年度小千谷市ガス事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して6・9%の増額、収益的収入及び支出の収支差額は6073万6千円の赤字計上を見込んでおり、主要な工事としては、統合新病院建設に伴うガス負担金工事や経年管の計画的な布設替や耐震化を進めるための布設替工事等が計上されています。

○議案第7号 平成26年度小千谷市水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して26・2%の増額、収益的収入及び支出の収支差額は5768万1千円を見込んでおり、主要な事業としては、浄水場更新に伴う実施設計業務と送水管工事、経年管の計画的な布設替や管路耐震化を進めるための工事、統合新病院建設に伴う水道負担金工事等が計上されています。

○議案第8号 平成26年度小千

谷市工業用水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して14・4%の増額、収益的収入及び支出の収支差額は3284万5千円が計上されており、主要な事業としては、導水管布設工事、水利権許可申請業務が計上されています。

○議案第9号 平成26年度小千谷市下水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して2・2%の増額、収益的収入及び支出の収支差額は4億3615万5千円が計上されており、主要な事業としては、統合新病院建設に伴う公共下水道管渠整備工事、鴻野谷地区農業集落排水の公共下水道接続実施設計業務が計上されています。

○請願第1号 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書提出に関する請願について

採決の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案19件及び請願1件について、慎重に審査した結果、議案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願1件についても慎重に審議した結果、採択すべきものと決しました。

○議案第26号 小千谷市総合福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第27号 小千谷市老人憩の家条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第28号 小千谷市健康センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第30号 小千谷市農業管理センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第31号 小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第32号 小千谷市錦鯉の里条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第36号 小千谷市克雪管理センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第37号 小千谷市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

以上の8議案は、いずれも消費税の税率改正に伴い、それぞれ利用料、使用料及び入館料を改定するものです。

○議案第33号 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第34号 小千谷市準用河川管理条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、消費税の税率改正に伴い、占用期間が1月未満の場合の占用料に乘じる率を改正するとともに、占用料に1円未満の端数が生じた場合の処理に関する規定を加えるものです。

○議案第35号 小千谷市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第38号 小千谷駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、使用期間が1月未満の場合の使用料に関する規定及び使用料に1円未満の端数が生じた場合の処理に関する規定を加えるものです。

○議案第41号 平成25年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

○議案第42号 平成25年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

○議案第43号 平成25年度小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第1号)について

○議案第2号 平成26年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について

○議案第3号 平成26年度小千谷市介護保険特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○請願第2号 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願について

○議案第5号 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○請願第2号 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願について

○議案第5号 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○請願第2号 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願について

○議案第5号 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○請願第2号 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願について

○議案第5号 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○請願第2号 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願について

○議案第5号 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

○議案第4号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

○請願第2号 県立精神医療センターの休止業務の早期再開を求める請願について



市政の内容を聞く

一般質問

小千谷市の人口問題・災害時協力井戸について

久保田陽一 議員

質問 昭和30年と平成26年の人口・世帯数を比べ現状をどう捉えているのか。

答弁 市制施行以来の人口減少と少子高齢化は当市にとっても問題である。人口の自然減は避けられない現実であり今後も続く人口減少と超高齢化社会にいかに対応するかが大切である。

質問 小千谷市に定住してもらうためにアピールすべきものは、
答弁 働く場を多く作ることが重要である。

質問 人口減少に関して今までの対策とこれからの施策は。

答弁 これまでは企業誘致や宅地造成、住宅取得補助や定住促進住宅家賃補助、移住定住促進施策や子育て環境・教育環境の充実を図ってきた。今後は新た

に若者の定住促進と雇用機会の確保に取り組む予定で、次期総合計画でも人口減少に関する施策は重要な位置づけにしたい。

質問 人口減少対策については新潟県との関わりは。

答弁 県の事業との同調・連携は情報不足のため今後の動きを見ながら判断したい。

質問 災害時に利用可能な生活用井戸の把握と今後の調査は。

答弁 今まで生活用井戸の把握調査はしていない。今後は何らかの方法で調査を実施したい。

質問 地下水利用適正化に関する条例や規制が必要では。

答弁 地盤沈下等問題が発生した場合に速やかに検討したい。

質問 災害時協力井戸制度の導入が必要では。

答弁 災害時における生活用水確保の有効な手段と捉え、今後実施予定の災害時利用可能井戸調査の結果を踏まえ、制度導入に向け検討したい。

「小千谷市の木」の制定について

柳田 宏光 議員

質問 小千谷市の市制60周年を記念して「小千谷市の木」を制定してはいかがでしょう。市の木は、小千谷の春をトキ色に彩る、タニウツギが良いのではないのでしょうか。

答弁 60周年を記念に「小千谷市の木」を制定するには、時間的に課題があるので今後に向けて検討していきたい。

質問 小千谷市の花「スイセン」について

質問 小千谷市は、市制30周年を記念して、市の花をスイセンと決めました。しかし、春になってもどこにもスイセンの花畑は見られません。山本山にスイセンの花畑を作ってはいかがでしょう。

答弁 山本山には現在、ナノハナとヒマワリを交互に植えているので、これを続ける。スイセンは、球根であり、トラクターも使えず管理が大変なので、行政が行うのではなく市民の皆さんに植えていただくことが望ましい。

タニウツギ



国道117号若葉町地内の街路樹について

質問 117号沿い、若葉町地内に植えてある街路樹に10年前から立枯れが目立つが、この原因のひとつは、中国のハクモクレンであるために小千谷の気候に合わないためだと思う。したがって、これを撤去して、市の花、スイセンを植えてはいかがでしょう。

答弁 当地では、雪折れの防止等、維持管理に苦労しているが、せっかくなあるものを撤去するのはもったいない。管理者である新潟県に現状を報告して適切に対応したい。

ふるさと納税及び西高活性化等について

山本 道男 議員

質問 ふるさと納税について

財源確保に加え、小千谷

市の特産物・情報発信を図るため、寄付者が喜ぶような贈呈特産品を送付する考えはないか。

答弁 来年度予算に納税者の実質負担分程度の贈呈品予算の計上を行いたい。

質問 当市への納税を増やすため、新パンフレットの作成に加え、市長が先頭に立って同人会への積極的な取り組みを行う考えはないか。

答弁 今まで以上に積極的にPRするため、議員提案を参考に効果的なPR方法や御礼方法等を検討したい。

質問 西高活性化について

質問 小千谷西高校に開設が予定されている「メカトロニクス系列」科目については市が中心となり、産・官・学三位一体となった協力体制が必要と考えるが。

答弁 「小千谷キャリア教育推進協議会」を核として、課外活動への支援策等について、県と連携を図りながら取り組みたい。

質問 海外等への修学旅行や技術研修を実施し、費用を市が援助する考えはないか。

答弁 技術については、国内企業の方が上回っている場合も多いので、必要があれば検討して

いきたい。

人材育成関係について

質問 人材育成の一環として、中・高校生を対象とし、地元で結成された「オレゴン交流委員会」と連携を密にしながら、語学留学や海外研修に積極的に取り組むべき時期ではないか。



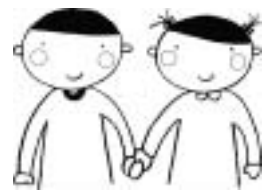
答弁 「オレゴン交流委員会」との連携は密にしていきたいと考えているが、支援については今後の検討課題と考えている。

「就学援助」と原発避難計画について

風間 健一 議員

質問 生活保護基準が引き下げられた。これに連動して最低賃金や年金の給付水準、就学援助や住民税の非課税基準も引き下げられかねず、福祉の全面後退を引き起こす。低所得世帯に対する就学援助など引き下げないでいただきたい。

答弁 「就学援助」「特別支援教育」「就学奨励事業」については引き上げません。



質問 関西電力などの電力各社が行ったシミュレーションでは、原発過酷事故の進行について事故発生約20分後に「メルトダウン開始」、1時間半後に「格納容器からの放射能漏えい開始」します。柏崎刈羽原子力発電所から30キロ圏内の避難時間について、交通工学に基づいたシミュレーションでは国道のみを使用した場合66時間、国道と高速道路を併用した場合は29時間を要します。

答弁 まず屋内避難を行い、放射線量が防護基準値を超えたら緊急性の高い地域から町内単位で段階的に避難するため深刻な渋滞にはならず、被曝を避け退避できる。市外への避難計画は県が調整するが、具体的な避難経路、近隣県への避難先等はま

だ検討課題だ。県から指針が示されたら遅滞なく避難計画を作成する。

マイナンバー制度、防災教育、バイオマスにいがた構想について

阿部 正行 議員

質問 マイナンバー制度について。

答弁 制度の内容について。

質問 複数ある特定個人番号は同一人の情報であることの確認を行うための基盤であり、社会保障等に透明性を高め公正な社会を実現するための制度。

答弁 これにより各手続の簡素化を図り本人確認等により利便性の向上が得られるようになる。

質問 今後の取り組みについて。

答弁 平成26年度に制度システムの準備、27年10月に市民に番号を通知、28年1月運用開始。詳細は市報等で通知する。

質問 防災教育について。

教育長答弁 各学校で年2回以上実施。火事、地震、不審者侵入、降雪期等工夫して実施している。

質問 そなえ館の活用は。

教育長答弁 小学校6校が訪問し地震のすさまじさを体験。そなえ館の担当者も招いて震災体験を伝承するなどあの時の体験を風化させないよう努めている。

質問 原子力発電について。

教育長答弁 中学3年の社会、理科で学習し26年度1学期に各学校の防災計画に対応策が盛り込まれる予定。

質問 防災教育の評価について。

教育長答弁 おちやっ子教育プランの一つであり、命の大切さや協力奉仕等学ぶ重要な機会である。



堆肥センター

に策定し、本市では平成18年に環境基本計画で資源の循環利用推進に取り組むとしている。平成15年に農村振興基本計画を策定し、堆肥センターを稼働させた。

質問 バイオマス産業の支援は。

答弁 具体化したら考慮する。

農業(稲作)問題と豪雪支援策について

田中 淳 議員

質問 5年後を目途に生産数量目標を行わないと国が示しているが、当市としての需給調整をどのように考えているのか。

答弁 市としては、稲作の所得の確保として、米の需給と価格の安定を堅持する必要があると考え、当面は米の生産数量目標に沿った需給調整を行うことが必要と考えている。

質問 減反率が県内で一番の状況の中で、目標数値を含め具体策はお持ちか。

答弁 現在価格設定についての目標数値はない。これから検討する。

質問 コメの価格安定、減反率の減少につなげるためには、今

質問 バイオマスにいがた構想について。

答弁 マスタープランの作成は。国のバイオマス・ニッポン総合戦略に基づき県が10年前

後行政としてのテコ入れも必要と考えるが、施策はお持ちか。

答弁 収量を高めていけば十分に農家の収入も得られると思う。今後助成も必要かどうか考えなければならぬが、今の段階では収量を上げていけば助成をする必要はないと思う。

質問 備蓄米の保管場所について、魚沼コシヒカリ生産地全体としての構想はお持ちか。

答弁 どういう形態を取っているのか今後考えていきたい。



質問 除雪隊応援策として要請からのシステムや、今後の応援体制、支援協定についての市長の考えは。

答弁 応援システムについてはないが、市から民間業者に対して派遣要請を行えば、協力いただけるものと思っている。現在締

結している災害時相互応援協定等や県からの要請について対応したいと考えており、新たな市独自の応援体制・支援協定については考えていない。

支援学校開校に伴う日中一時支援について

吉崎 進 議員

質問 社会福祉課の意向調査によると、改修した支援学校体育館の日中一時支援室を使用して、長岡福祉協会が実施、小千谷北魚沼福祉協会が支援学級通学者を含めてひだまり工房で実施するとなっている。しかし、社会福祉法人小千谷市社会福祉協議会は、実施する予定はないとしている。その理由として、①市立総合支援学校での日中一時支援の実施について、南魚沼福祉協会

まきはたの里及び総合支援学校への視察、事業費の試算等により検討したが、採算性、施設・設備及び職員の確保等、困難な問題が多く、現在示されている条件では実施できない。②他に事業実施する社会福祉法人等がないときは、採算の取れない場合の給付費の上乗せ支給、施設

の充実等を実施していただければ、当協議会は再検討する、とのことです。確かに小千谷市社会福祉協議会は指定管理者であり、独立した団体である。長岡福祉協会は、細かい試算を行い、平均4名の利用があれば、赤字にならないとしている。なぜ、小千谷市社会福祉協議会では採算が取れないのか、その理由を聞かせてほしい。



総合支援学校相談室（一時支援室）

答弁 小千谷市社会福祉協議会からは、南魚沼福祉協会が実施している日中一時支援事業での職員配置計画や運営の実態等を参考として、当市の総合支援学校での、早朝、放課後及び長期休暇期間における日中一時支援事業の実施に伴う人件費や光熱水費などの経費の試算等により検

討したところ、採算性などについて課題が多いため実施が困難であると聞いているが、それ以上のことについては承知していない。

新病院の医療従事者の確保等について

長谷川有理 議員

質問 魚沼病院が厚生連の看護師不足で1病棟閉鎖となり市民に不便・不安をきたしています。病棟の再開はできますか。

答弁 本年1月より1病棟60床が閉鎖となっておりますが長岡中央総合病院からの慢性期患者の受け入れを休止することで外来や入院患者の影響はないと聞いております。病棟再開は7月頃にできると伺っています。

質問 厚生連に確実な病棟の再開を要望してほしい。

答弁 要望はしていないが、7月再開がずれようなら予定どおりの再開を要望していきます。

質問 パンフレットの作成や医師や看護師を目指す学生への奨学金の創設など、小千谷市独自の医療従事者の確保や働きかけの具体策はありますか。

答弁 厚生連におまかせではなく市長としても大学への訪問活動等も行っています。奨学金等は県で行っているので市独自の施策は考えていません。

質問 県の施策でなく小千谷地域の医療を守るための医療従事者の確保をどうお考えですか。

答弁 パンフレット等の効果は期待できないと考えます。

質問 パンフレットさえない中でどう医療従事者に新病院をアピールできるのか疑問です。新病院の魅力を打ち出したパンフレット等を作成してアピールすべきではないですか。

答弁 厚生連のコントロールの下に行動したいので、厚生連に効果があると言われたら考えた

質問 厚生連との連携は市長として緊密に行っていますか。

答弁 特別にどうというのにはないが市長としてこういうところに行ってくれと言われれば、どこでも行くつもりであります。



議会日誌

1月～3月

〈1月〉

- 9日 議会報編集委員会
- 15日 議会報編集委員会
- 16日 議員協議会
- 議員全員協議会
- 議員クラブ会
- 民生産業委員協議会

〈2月〉

- 3日 魚沼市議会行政視察に来
市
- 6日 総務文教委員施設見学
- 10日 全国高速自動車道市議会
協議会理事会・定期総会
(東京都)
- 13日 議員協議会
- 19日 議会運営委員会
- 21日 全国市議会議長会建設運
輸委員会 (東京都)
- 26日 第1回定例会 (本会議)
- 議会議報編集委員会
- 27日 常任委員会連合審査会
- 28日 常任委員会連合審査会

〈3月〉

- 3日 常任委員会連合審査会
- 4日 総務文教委員会
- 5日 民生産業委員会
- 6日 総合支援学校見学会
- 10日 市制施行60周年記念式典
- 13日 議会運営委員会
- 本会議 (第2日)

- 14日 本会議 (第3日)
- 議会報編集委員会
- 18日 議会運営委員会
- 本会議 (第4日)

市議会を傍聴してみませんか

第2回定例会開催予定

6月10日(火) 第1日 議案上程説明
6月11日(水)～6月13日(金) 各常任委員会で審査
6月24日(火) 第2日 一般質問 (質問者が多い場合に開催)
6月25日(水) 第3日 一般質問
6月27日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局 (TEL83-3505)へお問い合わせください。

また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。
(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から、この本会議の会議録が市議会ホームページに掲載されるまでの間ご覧いただけます。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



小池 将太 (谷内)



54

私はこの春から旅行会社で働き始めます。小千谷で生まれ育ち夢を叶えるために2年間新潟市で暮らし、専門学校に通っていましたが、就職するにあたり縁あってまた小千谷に戻ってくる事ができました。もうじき社会人になるわけですがこの原稿を書いているときは3月後半)自分がすっかり働いていけるか、今不安でいっぱいです。学校の先生から仕事は9割が大変ということを知りながら

に不安になります。残りの1割の楽しさや今後の夢や目標のために頑張っていこうと思います。さて、その中で5月には成人式を迎えるわけですが、私は成人式の実行委員になり、実行委員長を務めることになりました。仕事との両立は大変かもしれませんが、自分ができることを精一杯やり、他の実行委員の方と協力しながら素晴らしい式にしていきたいなと思っています。いざ自分自身が成人式を迎えるとなると、この2年間ともあつという間だったなと思います。素晴らしい友達に出会い、楽しく辛いこともあつた学校生活、様々なことがあり非常に充実していました。成人になると同時に私は社会人にもなりますので、今後はより一層自分の行動に責任を持ち、これからの長い人生を思いきり楽しんでいこうと思います。

編集後記

13日は、おちや桜まつりが千谷工業団地で行われました。晴れて暖かく、多くの市民が訪れておりました。しかし、残念ながら、桜のつぼみは大きくなっていました。開花しておりませんでした。あと二、三日すればというところでした。10日の小千谷市立総合支援学校の開校式、入学式のとときは、グラウンドに雪が多く残っていました。今年の春は、例年に比べますと気温が低いように感じられます。いよいよ農作業が始まる時期となってきました。作業中の事故にはくれぐれもご注意ください。また、山菜採りも真つ盛りとなっておりませんが、事故、火災にも、ご注意ください。この市議会日より、風間健一議員が編集委員として加わりました。今までの編集委員と合わせて7名で、今後の議会報を編集していくこととなります。

